

教科	科目	学年	単位数
数学	文系数学演習 X	3年 (一貫文系・人文社会系)	2
使用教科書		副教材	
数学 I ・ 数学 A (数研出版)		4STEP「数学 I + A」 (数研出版) チャート式「基礎からの数学 I + A」 (数研出版) 入試問題集(購入予定)	

1. 学習到達目標

これまでに学んできた「数学 I」「数学 A」の総復習や総合問題を演習することで、大学入試問題を自力で解けるような力をつけていきます。更に重要で典型的な問題(教科書の応用例題～章末問題レベル)の解法の確認と定着を通じて、大学入試共通テスト型の問題や私立大学の入試問題をどのように解けばよいか、どのような答案を作成すればよいか、速く正確に解答するにはどうすればよいかを判断する力を高めることが、この授業の目標です。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
数と式、2次関数、場合の数と確率、図形の性質、図形と計量、データの分析についての基本的な概念や原理・法則をもう一度体系的に理解するとともに、大学入試問題を自力で解くための基礎知識を身に付けるようにする。また、定期試験や、朝テスト、授業などにおける小テストの結果などを総合的に評価する。	教科書の「応用例題」「節末問題」のレベルの内容を自力で考え、解くことができるようにする。また、速く正確に解答するにはどうすればよいかを判断する力を養う。定期試験、授業などにおける小テストなどを総合的に評価する。	数学を通して問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。授業態度、課題への取り組み、振り返り状況などを総合的に評価する。

3. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

この授業は、数学Ⅰ・数学Aのみを受験で必要とする生徒、または、大学受験において数学を必要としない生徒を対象とした授業です。数学Ⅰ・数学Aが受験に必要な生徒にとっては受験対策用の授業となります。また、大学受験において数学を必要としない生徒にとっても、将来、大学進学後や就職試験（SPIなど）で数学Ⅰ・数学Aの内容が必要となりますので、数学Ⅰ・数学Aの内容の復習と共に、数学的な考え方も身につけておくことが求められます。

まず、教科書の「例題」「応用例題」「節末問題」のレベルを中心として、これまで学んできた内容の復習と定着を図ります。続いて、教科書の「章末問題」を中心に扱い、総合力の定着を図ります。状況に応じて他の単元との融合問題も扱い、解法を思いつくのに必要なアイデアや知識を身につけます。

	月	単元	授業内容	その他（授業で扱う習得すべき内容） ※番号は必ずしも学ぶ順序を表すものではありません。
1 学期	4	数学Ⅰ・数学Aの全範囲	教科書の本文レベルの確認	教科書の「例題」や「応用例題」などの重要問題を自力で解けるか確認し弱点を克服しながら、一通り演習します。
	5			
	6			
	7			
2 学期	8	数学Ⅰ・数学Aの全範囲	教科書の章末問題レベルの確認	教科書の章末問題レベルの問題を解答することで、「総合問題を自力で解く思考力」、「早く正確に解答する力」、「弱点を見つけ演習する習慣を身に着ける」ことを目標とします。
	9			
	10			
	11	総合問題演習	単元別の問題に加え、全範囲にわたる総合問題を扱い、他の分野との関連性を整理しながら解法のポイントを学びます。また、問題のテーマと解法を思いつくのに必要なアイデアや知識などの重要ポイントが整理でき、そのポイントを活用して難易度の高い問題が解ける事を目標とします。	
	12			
3 学期	1	数学Ⅰ・数学Aの全範囲	総合問題演習	単元別の問題に加え、全範囲にわたる総合問題を扱い、他の分野との関連性を整理しながら解法のポイントを学びます。また、問題のテーマと解法を思いつくのに必要なアイデアや知識などの重要ポイントが整理でき、そのポイントを活用して難易度の高い問題が解ける事を目標とします。